

平成25年度 第6回富里市教育委員会定例会議会議録

富里市教育委員会

- 1 期 日 平成25年9月24日(火)
開会 午後2時
閉会 午後3時30分
- 2 場 所 本庁舎3階第3会議室
- 3 出席委員 委 員 長 河 田 厚 子
委員長職務代理者 武 井 勝 彦
委 員 佐々木 浩 二
委 員 森 田 惠 子
教 育 長 國 本 與 一
- 4 出席職員 教 育 次 長 小 野 祐一郎
教 育 総 務 課 長 高 須 利 幸
学 校 教 育 課 長 滝 口 次 郎
学 校 給 食 中 心 所 長 大 木 正 吾
生 涯 学 習 課 長 榊 原 孝
図 書 館 長 根 本 優
- 5 事務局職員 教育総務課課長補佐 中 津 義 孝

平成25年10月23日

署 名 人

署 名 人

会議録作成人

1 委員長開会宣言

河田委員長 平成25年度第6回富里市教育委員会定例会議を開会する。

2 前回会議録の承認

平成25年度第5回定例会議会議録承認

(署名人：武井委員，佐々木委員)

3 教育長報告

・8月29日に9月定例議会が開会，9月27日が最終日である。會田直子新委員についての議会同意を得たので10月1日に辞令交付が行われる。

教育委員会関係の補正予算は，アメリカのコンコルディア大学から英語指導助手として2名を受け入れる件と旧岩崎家末廣別邸の国登録有形文化財指定に伴う記念シンポジウムの開催の件である。

・9月7日は，市内3中学校の体育祭が開催された。9月，10月は小学校，幼稚園の運動会がある。

・9月11日は，文教厚生常任委員会が開かれ，付議議案について同常任委員会の承認を得た。

・9月17日は，決算審査特別委員会が開かれ，平成24年度歳入歳出決算の承認を得た。

・9月25日は，千葉県市町村教育委員会連絡協議会の教育委員研修会が行われるので委員の皆さまの出席をお願いする。

・10月1日は，教育委員会臨時会議が開催される予定である。

・10月3日は，学校適正配置検討委員会委員に同行して，洗心小学校，富里南小学校，浩養小学校を視察する。午後からは第3回学校適正配置検討委員会会議に出席する。視察及び会議は，中身の濃い内容であるので委員の皆さまにはオブザーバーとして出席をお願いしたい。

4 教育委員報告

委員 9月7日に富里中学校の体育祭に参加した。中学生の演技を見て力強さに感激した。どの学年，どのレースも生徒一人ひとりが全力で臨んでおり，体育祭への子ども達の熱い思いを感じることができた。棒たおし，学級対抗リレー，組体操，女子全員によるダンスも躍動感を感じることができた。中学生のまとまりを強く感じ，素晴らしい運動会であった。

委員 森田委員とともに富里中学校の体育祭に参加した。男子組体操で協力しながら一生懸命にやっている姿，女子ダンスでの明るい笑顔を見て

ほほえましく感じた。各学年の100メートル走で全員が全力を出し切っている姿を見て、いいことだなと思った。また、教職員が1チームを作ってリレーに参加したこと、100メートル走で山田校長先生が生徒と一緒に走りぬけた姿を見て、先生が生徒と一緒に参加することは子ども達にいい刺激があり、教育として望ましいことだと感じた。

委員 9月7日に富里南中の体育祭に参加した。夏休み後、間もない開催であったがエールの交換、応援合戦は大変よくまとまり、子ども達の全員の声が出ていた。また、先生方の声掛けとも相まって、競技を見ているものは引き込まれ、自然と声援がおこってきたことは素晴らしいことであった。体育祭直前の富里南中だよりに掲載されていた一遍の詩を紹介する。「走っている子ども、最高に燃えている姿がこれだ。走力の違いによって1番あり、2番あり、3番あり、6番もある。でもそれは燃え方の序列ではない。」走るのが遅い子どもの心情に配慮し、「怠けている、ふざけていると思っってはならないのだ。」と締めくくられていた。生徒、保護者に対する強いメッセージであることがよくわかり、子ども達の走りを見て詩に共感した。最も印象に残ったのがPTA対3年生男子の綱引きであった。先生方が生徒側に加わり、白熱した戦いであった。2勝1敗でPTAの勝ちであった。競技の始まる前の生徒と先生のやりとりを見て、とてもいい雰囲気であり、先生生徒の関係は大変良いと感じた。

河田委員長 富里北中学校の体育祭に参加した。年々人数が減ってきており、入場行進の際は寂しいと感じたが、3色に分かれた応援合戦では、少人数ながら力の限り応援をする一生懸命な姿を見て感動した。何年か前から女子ダンス、男子組体操が競技からなくなった。そのことで盛り上がりが出てきたのではないかということで、4～5年くらい前に部活動対抗リレーが競技に加わり、部それぞれのパフォーマンスを含めた走りが大変盛り上がっていた。吹奏楽のマーチング、サイエンス部のペットボトル打ち上げなどを含めて皆が参加した体育祭であったと感動した。先生方のリレーチームでは、早い先生も遅い先生も皆で声をかけあっており、学校全体でまとまっている暖かい体育祭であった。

この会議の前に給食センターで小学校給食の試食を行った。子ども達にとって給食の時間は心豊かに過ごせる素晴らしい時間であると思っている。卒業して大人になっても学校での給食の時間は、メニューを含めてとても思い出に残るものである。栄養士が一生懸命、毎日まいにち、児童生徒の栄養を考えて作った給食をありがたくいただいた。

5 専決処分の報告

(1) 行事の後援について（生涯学習課）

國本教育長 報告第1号、「3B体操・ジュニアキャンペーン」の後援については平成25年9月2日付けで、「第13回千葉県支部対抗親善ソフトボール大会」の後援については平成25年9月9日付けで、それぞれ承認したものである。

生涯学習課長 10月16日社会体育館を会場として、市内の幼児とその保護者20組を募集して音楽に合わせて遊びながら運動に親しみ、交流することを目的としている。ボール、ベル、ベルター（ゴム輪のようなもの）3つのBの頭文字をとって3B体操という。この事業は、社会体育館で複数回実施された実績があり、家庭教育、健全な幼児教育の振興に資するものと判断して後援を承認したものである。

千葉県支部対抗親善ソフトボール大会については、県内27支部が各会場を持ちまわり行っている大会で、今年度は本市と八街市が会場である。スポーツの普及振興、競技力の向上に資するものとして後援を承認したものである。

5 議案

河田委員長 議案第1号について、國本教育長より提案理由の説明を求める。

國本教育長 議案第1号は、富里市公民館使用料減免の対象者となる使用者に関する要綱の一部を改正する告示の制定について、富里市公民館条例施行規則第10条の規定により教育委員会の議決を求めるものである。よろしく審議の上可決されるようお願いする。

(1) 議案第1号 富里市公民館使用料減免の対象者となる使用者に関する要綱の一部を改正する告示の制定について（生涯学習課）

生涯学習課長 富里市公民館使用料の減免の対象となる団体の名称に変更があったもの、団体の新設、廃止があったものについて所要の改正を行うものである。

<質疑等> なし

<採決>

議案第1号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

7 協議事項

(1) 富里市立洗心小学校小規模特認校の指定について（学校教育課）

学校教育課長 小規模特認校の指定の目的としては、豊かな人間性を培うとともに洗心小学校の児童数の適正化を図るというものである。この制度は、平成22年度入学の児童から適用し、平成24年度までの3年間の状況を確認するということで始まった。その結果、今年度も制度を継続しようとして昨年度の会議で決定したところである。現在、44名の児童数のうち学区内から就学している児童が28名、指定校変更のうち小規模特認校で就学している児童が2名、その他が9名、区域外就学である市外から就学している児童が5名いる。来年度の入学を予定する児童は2名であり、その2名が入学後の学校生活を送ることなど教育上の課題を考えると、1人でも2人でも人数が増えれば学校生活が充実していくと考え、特認校の継続を考えている。10月に行う各小学校の就学時健康診断でリーフレットの配布と説明、各保育園と各幼稚園の4・5歳児の保護者に配布する予定である。平成25年度に引き続き来年度も小規模特認校の指定を延長したいと考える。

<質疑等>

委員 是非1人でも多く、洗心小学校に入学するよう、特認校を進めてほしいと考える。

委員 何年も前から小規模特認校の指定をしているのだが思ったより人数が増えないのは残念である。このまま特認校の指定を行うのがよい。

委員 このまま全学年が複式になってしまうので、1人でも2人でも児童が増えてほしいと考えている。

河田委員長 本質的な考えは、子どもは地域で育つべきであるが、洗心小学校の今後のことを思うと、特認校指定をこのまま継続するべきであると考え。

<採決>

協議事項、富里市立洗心小学校小規模特認校の指定については、指定をもう1年延長する。

8 報告事項

(1) 月例報告（各課等）

河田委員長 報告事項について、各課等から報告願う。

教育総務課

- ・ 9月議会が開会し、9月11日に文教厚生常任委員会、17日に決算審査特別委員会が行われた。27日に閉会する予定である。
- ・ 10月1日に第7回教育委員会臨時会議を開く。
- ・ 10月3日に学校適正配置検討委員会を開催する。
- ・ 次回の定例会は10月23日である。

学校教育課

- ・ 9月7日に各中学校の体育祭が開催、9月21日に富里小学校で運動会が行われた。9月28日に浩養小学校、根木名小学校、洗心小学校で運動会が行われる。
- ・ 9月20日の第2回教務主任会議で全国学力学習状況調査の分析の仕方について共通理解した。各学校での分析が始まる。
- ・ 10月2日は、校長会を富里第一小学校で開催する。
- ・ 10月12日は、日吉台小学校の運動会、根木名小学校30周年記念式典が行われる予定である。
- ・ 10月21日は教育事務所指導室訪問があり、富里中学校で授業参観が行われる。
- ・ 給食費の徴収率は前年度と比較して高くなっている。

<質疑等>

委員 ゲリラ豪雨の際、そのまま家に帰ったほうがよいのか退避させたほうがいいのか、防災教育はどうなっているか。

学校教育課長 学校ごとに状況を判断して、学校内に留め置く、集団で帰すなどの対応が原則的な考え方であり、学校の判断を助けるため情報提供を行い、学校の対応を確認する。

河田委員長 校長会議の内容で学習サポーター制度とは何か。

学校教育課長 千葉県教育委員会で学力向上のために補正予算で措置された人の配置である。本市は4名が配置された。教員を退職した方など、週3日4時間の勤務をお願いする。授業の補助、課外の学習指導、登校後の学校が始まるまでの時間の補習、宿題の点検など、学級担任、教科担任と組み合わせて活用する。富里小学校、日吉台小学校、富里南小学校、根木名小学校に9月から配置している。初任者教諭を指導する方を配置したので戦力になると考えている。

学校給食センター

- ・ 10月下旬に千葉県学校給食センター研究会第一地区研究会所長会議が開催される。

生涯学習課

- ・少年少女綱引き・ドッチボール大会は、例年1月末に開催していたがインフルエンザが蔓延する時期として開催時期の見直しについて課題であった。今年度は、10月14日に開催するとみさとスポーツ健康フェスタと同日に行う。

図書館 図書館のホームページを9月18日にリニューアルした。

9 その他

(1) 富里市きょうざん塾の運営構想について

教育長

- 1 きょうざん塾の由来は、江戸後期から明治初期にかけて、富里市中沢にある昌福寺で僧侶の「きょうざん」という書の大家が寺子屋のような形で子ども達に教えていたことから名付けた。
- 2 富里市教育委員会における個への支援策として、学校教育は、児童生徒の人間としての調和のとれた育成（知・徳・体の育成）を目指し、地域や学校の実態及び児童生徒の心身の発達段階や特性を十分に考慮して行わなければならない。富里市教育委員会では学校が行っている日々の教育活動を支援しつつ、学校と教育委員会が相互に補完しあう教育的な取り組みとして「きょうざん塾」を開設し、個への支援の充実を図る。言い換えると、学校が行いたいと考えている事業ではあるが学校単独で行い難い事業を教育委員会などが代わって行うというものである。
- 3 具体的な方策としては、伸びて輝く子の育成を行うために
 - (1) 目指す子どもの姿は、教養人の育成、地球人の育成、国際人の育成である。
 - (2) まちづくりを考慮した運営は、人材の活用～ボランティアを組織化し、地域の人材を有効に活用する。協働のまちづくり～地域の諸団体等からの協力と支援を受け、支え合う社会環境を作る。郷土愛～ふるさと富里を愛する大人と子どもを育て、郷土愛を醸成する。
 - (3) 教養人の育成に関して期待する成果としては、基礎的・基本的学力と学習習慣の定着であり、平成23年度から学校教育課において、夏季休業中の小学生を対象に福祉センターで富里市きょうざん塾を開き、学習指導を行っている。今年度は、きょうざん会というボランティア団体を組織化し、市民活動推進課から5万円の助成を受け、5日間、43名について学習指導を行った。希望する子ども達すべてを引

き受けることができなかつたため、ボランティアの確保、開催場所などが今後の課題である。そのほか関連事業としては、「とみの国」検定において漢字、計算の学習指導を行っている。国際人の育成に関して期待する成果は、異文化の体験的理解、英語力の育成であり、平成13年度から企画課が窓口となり、運営主体は富里国際交流協会がホームステイ体験ツアーを実施している。中学生を対象とし、例年12名がアメリカ合衆国ウィンスコン州メクオン市でホームステイ体験を行う。関連事業としては、生涯学習課が所掌する英語スピーチパフォーマンスコンテストで、中学生は英語の授業、小学生は外国語活動として学んだ英語の成果を発表する場として行っている。構想の中で手付かずの地球人の育成に関して期待する成果としては、環境・平和への関心と態度の育成、リーダーの養成である。（仮称）少年少女の翼という事業名で、教育関係団体を含め様々な団体が運営主体となり、小学生高学年、中学生を対象に考えている。開催時期は、夏季休業中などで開催場所は、成田国際空港で空の環境学習、沖縄では海の環境学習・平和学習、富里市環境美化推進協議会の主催事業で陸の環境学習を学ぶという構想である。教育委員会課長会議、企画課長、環境課長と構想の実現に向けて協議をした。市の財政負担を考慮して個人負担だけでなく、補助金事業などを活用することを検討していきたい。参考までに成田市では、青年会議所の主催による少年の翼という事業名で、夏季休暇中の中学生30名がニュージーランドの姉妹都市に行き学習している。富里市においても同程度の事業を実施できればよいと考えている。

河田委員長 幅の広い、壮大な構想であると感じた。委員から意見、質疑等があるか。平和への関心については、今までにあまりふれていなかった部分であるので平和学習へのきっかけになると思う。

教育長 補足説明で、運営主体は教育委員会に直結した組織、行政に近い組織であると補助金を受けにくいので意識の高い方が団体を作っただけだと助成を受けやすい。

河田委員長 栄町でもきょうざん塾と同様な取り組みをしていて100名を超える参加者がいると聞く。学校の先生ではなく、元幼稚園の先生などであっても参加できるようだ。ボランティアの広がりを持たせるのであれば、そういったことも考慮していかなければいけないのではないか。申込者の多くを受け入れ、富里市の子ども達の学力の底上げを図っていきたいと考える。

(2) 旧岩崎家末廣別邸国登録有形文化財記念シンポジウムについて

生涯学習課長 7月19日開催の国の文化審議会において登録有形文化財の登録の答申がなされた。富里市で初めての国の有形文化財が誕生することになる。歴史的価値、建築物としての価値を多くの皆さんにお伝えするため、文化財や建築の専門家を講師として招き、講演会、発表会、パネルディスカッションを行うシンポジウムを計画した。講師やパネリストとしては大学の教授3名、市文化財審議会委員長を考えている。今後の旧岩崎家末廣別邸の利用・活用を考え、様々な角度から貴重な御意見をいただく。開催日は11月3日を予定し、対象者は市内外から広く参加を募る。本事業の講師謝金を補正予算として9月議会に上程しているのので、議決後は、本案で実施したいと考える。

委員 現在の整備状況はどこまで進んでいるのか。

生涯学習課長 土地の境界確定業務の実施、不要な竹の伐採作業を行う準備、ボランティアによる草取り、清掃を行っている。

8 委員長閉会宣言

河田委員長 以上で、平成25年度第6回富里市教育委員会定例会議を終了する。